



トピックス

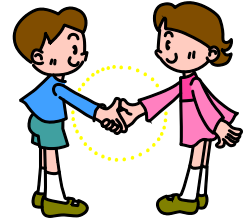
平成 29 年 10 月 10 日

NO.47



「ストップ・ザ・いじめ」

児童会が取り組む標語大作戦



本校は、「いじめのない学校づくり」として児童会が中心となり「ストップ・ザ・いじめ」の標語作りに取り組んでいます。いじめは「しない」「させない」「許さない」を合言葉に学校全体が協力していくことが大切です。それぞれの人々がどのように考え行動すべきかを考えるきっかけとして重要な取り組みです。9月から「標語づくり」が始まり、各学級から出された標語から学校代表標語として「いじめの矢 心のたてじゃ ふせげない」が決まりました。10月半ばには、各学級から出された標語を2階の渡り廊下に掲示されます。これらの標語を全校児童の一人ひとりが心に留め、自分たちがいじめのない学校にする気持ちを持って積極的に児童会活動へと参加させたいと考えます。

子どもたちは、学校だけで生活しているわけではなく、学校だけでは、解決できない問題もあります。ご家庭や地域においても個々の子どもにとって居場所があり居心地の良い環境づくりが大切ですので、今後共ご理解ご協力をよろしく願いいたします。



学校あれこれ物語

～給食編～



昔は、学校での楽しみと言ったら、定番のように「給食」と答える児童が多かったのですが…。現在はどうでしょうか。

給食のはじまりは、ご存知の方も多いと思いますが、山形県鶴岡町で明治22年に私立忠愛小学校で僧侶による学校給食が実施されたということです。わが松戸市の学校給食のはじまりの頃は、どのような状況にあったのでしょうか。クイズ形式で松戸市「給食事情」をたどってみましょう。

問1：松戸市で完全給食になったのは戦後からで、アメリカ教育使節団の勧告や連合軍の放出物資により、政府の斡旋から県の配給があつてはじまりました。まだ完全給食が実施されていない戦前は、給食というのではなく補食として児童に出されていました。給食を作る調理員も配置されていませんでした。戦後になっても、昭和22年ごろの小学校の給食事情は、こんな様子でした。さてこの2つの学校は、何小学校だと思いますか？

※1 小学校は、昭和15年保健所から「栄養料理」を取り寄せて希望で児童に出した。その後、学校独自で全校児童に「味噌汁給食」を出し、貧困児童には、米飯給食を出したことがあった。

※2 小学校は、戦時中より、各学年児童の畑で得た馬鈴薯、さつまいもを非農家の児童に給食として与えていた。給食というよりは、補食として行っていた。

問2：昭和25年の広報まつどを見ると、学校給食のねらいとして8項目をあげていなく。さて、8番目にあげたねらいとは何でしょうか。

- ①栄養改善による健康の保持増進と疾病の予防
- ②栄養の知識を与える
- ③食事訓練を実施する
- ④偏食の矯正
- ⑤調理場の清潔整頓
- ⑥郷土食の合理化
- ⑦家庭における食生活の改善に寄与する
- ⑧ を少なくする

昭和26年よりアメリカからの支援物資もあり完全給食（標準食）が本市でも高木第二小を除く、中部小、北部小、南部小、矢切小、東部小、高木小、馬橋小の7校で始まりしました。高木第二小が除かれたのは、施設の不備か調理員がいなかったか農家が多く、食料に恵まれていたか等の理由が考えられるそうです。

問3：完全給食は、週何回実施されたでしょうか。 ※4
※不完全給食（副食のみ）は週1回

問4：給食費は、一食当たり3円50銭（月50円）でしたが、今で言うと、約 ※5 円でしょうか。

問5：完全給食の内容は、パン、ミルクに、副食をつけたものであったが、その給食一食当りは、 ※6 カロリーが標準となっていました。

日本の独立を経て、政府配給物資の財源も打ち切りとなり、今まで無償でできていた給食も昭和27年4月以降は、有償へと切り替えることになりました。ここから給食は、新しい時代を迎え、年々給食メニューも進化を遂げ現在に至るわけです。

※クイズの答え（※1～6）については、次号のNO. 48をご覧ください。